婦人と新社會

山田わか主筆

四月號

未知の力

國政に參與するは
婦人の義務

幸福の港へ導く
光りは一ツ

大正九年二月二十三日第三種郵便物認可
昭和三年三月二十三日印刷納本

昭和三年四月一日發行　第九十七號　毎月一回一日發行

東京[illegible]婦人と新社會社發行

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

未知の力

最高度に婦人の人格を發達させ、その人格の力を社會のあらゆる方面に、卽ち、社會的、經濟的宗敎的、及び、政治的仕事の範圍に押し廣げて働かせたいと云ふ要求、云ひかへれば、人道への奉仕に女性の力を捧げるための自由を要求するに當つて、或る婦人論者は、男女の根本的に同じであると云ふ處に重きを置き、又、或る婦人論者は男女の根本的差と云ふ處に重きを置いてゐるのでありますが、もし、男女が全然同じものならば社會も國家も進歩向上して行く道を見出さうと試みるに當つて、そして、あらゆる困難な仕事を遂行するに當つて、男女の力を等しく利用する權利を持つものであるし、もし、又、男女は根本的に異つたものだとするならば、その異つた性質が與へ得る異つた奉仕を人類は一層多く要求するものでありますが、恐らく、眞理は此の兩極端のまん中處にあり、そして、社會や國家が男女に要求する處のものは、男女の最も親密なる共同による最も充實した力の奉仕であります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

國政に參與するは婦人の義務

一

普通選擧と云へば、國民が國民自身を治める政治であつて、國民全部の意志を議會へ反映せしむるものである筈ですのに、我が國第一回の普通總選擧には、第一、國民の半數なる婦人の意志は全然除外されてゐましたし、又、他の半數なる男子の意志も決して全部を代表させることは出來ませんでした。

男子のうちには自分の意志を代表して貰はうとする。つまり、自分の理想とする候補者を見つけることが出來ないで、「棄權しようか、それとも折角持つてゐるものであるから誰かにやつて置かうか」と迷つてゐる人達が現に私の周圍にばかりでも可なり澤山ありました。

又、私が目擊した人のうちにはこう云ふのがありました。

新聞紙上は勿論のこと、二人でも三人でも人がよりさへすれば、先づ、選擧の話に花が咲くと云ふように、國民的一大センセーションが起つてゐるので、比較的冷靜ではあつても、やはり、そのセンセーションには引き入れられる。そして、自分が理想とする候補者は無くても、とにかく、投票所へ行く。

その心持ちは、丁度、觀音樣を信仰してゐるわけではないが、あまりの賑やかさにツイ引かされて觀音まいりに行く。そして、出かけて行つた以上は、大した意味も期待もなくおサイセ

ンを投げる、と云つたような具合で一票を投じて來たのです。

一體、選擧運動と云ふものは、さう云ふ心持ちの有權者が隨分少なくないと見込んだ上でのことだと思ひますが、そして、この度の總選擧には、棄權しないようにとの運動が可なり盛んでありましたが、併し、自分の選擧區内の候補者には理想とするような人物が一人も無く、むしろ、人格の低劣な、卑しめの目を持つて見たいような人物ばかりであつた場合は棄權しても止むを得ない。と云ふよりは棄權するのが正當である。それが神聖な投票權を尊重する所以だと思ひます。

ですから、今度は棄權は少なかつたとはいへやはり相當にあつたのを、一がいに、政治に對する無自覺に歸するわけには行きません。

暗々裏のうちに醜い運動や買收が至る處に行はれてゐたと相像する理由があまりに澤山ありますが、これこそは全く政治に對する無自覺によることであつて、こう云ふ人達の投票こそ、意志の表示でも何でもない。投票權は一個の商品であるのです。

ですから、新聞が好んで大々的に書き立てた「全民衆の總意」だとか、『明るき政治の大道」だとか云ふ言葉は少しも内容の件はない、からつぼうな言葉、云ひかへれば、嘘であります。

二

今度の選擧運動が不眞面目極はまるものであつたと云ふことは、あの馬鹿々々しいポスターの貼り方や、又は、到底實行不可能な政見をれい〳〵しく發表してゐたことなどが其の證據です。

成程、候補者並びに選擧運動員は死物狂ひの

熱心さではありました。けれども、それは本當に國を思ふの餘まりの熱心さではなく、中にはさう云ふ眞面目な人もあつたでせうが、大體に於ては、唯、單に、競爭者との張り合ひ、いはゞ運動競技に對するような熱狂でありました。

　候補者は、負けちや口惜しい、あれだけの運動費を、たゞ捨てちやもつたいないと齒ぎしりをするのであるし、運動員は、自分達の支持する候補者を落しちやしやくだと狂奔するし、國民は、又、有權者も無權者も等しく、どつちが負けるか勝つかと、まるで、相撲の取り組みか、運動競技を見てゐるような心持ちで選擧の結果を見てゐるようで、國民の生活其のものを處理しようとする政治其のものは全然忘れられてゐるような狀態でした。

　戸別訪問が無くなつたことは、實際、各家庭にとつては大きな救ひでありましたが、併し、あのポスターを見て苦笑を禁じ得なかつたのは恐らく私ばかりでは無かつたらうと思ひます。

　いくら廣告の世の中だとは云へ、まるで子供だましのような意匠のあのポスターを見ては、私達は『あゝ、紙屋と印刷屋は隨分儲けたであらうな』と思ふだけで、少しもあのポスターの中の候補者の名には引きつけられはしませんでした。商品に對する俗惡な廣告心理に一國の選良ともならうとする者がひつかゝると云ふことは情けないと思ひます。それでも、當選でもすればまだしもですが、落選した候補者の名や寫眞がぐしや〳〵になつて道ばたに捨てられてあつたり、半分にひつ切れて寒い風に弄ばれてゐたり又は、溝の中に溝泥をあびてゐたりするのを見ると、うたゝ人生の悲哀を感じずには居られません。

　終りを全ふする乃至淸くすると云ふことは人

間の人間としての威嚴を保つ所以であり、且つ我が日本國民の特質だと私は考へて居るものでありますが、この次の總選擧のために此の點は考へて置くべきだと思ひます。

三

が、この普通選擧によつて、子供や弟や下僕が持つてゐる權利を、彼等を引き廻してゐる主婦が持たないことの如何に不合理であるかを多くの眞面目な男子が痛感したことは確かです。

又、婦人の側に於ても、今迄は、婦人參政權獲得などゝ云ふことは、男性的の女、はねつかへりのお轉婆女のみが口にすることで、優美な淑女や、又は、それ等の淑女を教育しようとする、そして、穩健を標榜する女子教育家などのかゝはるべき事柄ではないように考へられて居りました。が、いよ／＼普選になつて、男でありさへすれば誰でも持つてゐる權利、たとへば女學校の小使も運轉手も投票權があるのに、其の學校の校長さんには女性であるが故に無いと云ふことは如何にも不條理であると云ふことに女子教育家達自身も氣付いてまいりました。まことに、時なれやであります。

四

が、とにかく、新有權者のうちには隨分理知に暗く、政治の本當の意味も了解出來ず、感情も粗野な人々が決して少なくない。そして、ともすれば、正不正を認めるいとまもなく、金力即ち、腕力の強い方へ政治と云ふおみこしをかつぎ上げてしまう。乃至は國民のうちの危險な思想を持つてゐる人々に煽動されて、とんでもない處へおみこしをかつぎ上げて、國を窮地に陷れたり、國民に塗炭の苦しみを嘗めさせるよ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

うになるかも知れません。

たとへば、辯説のうまい、人間の弱點を突くことを得手とする一部の煽動家の口車に男子有權者の半數以上が乘つてしまつて、危險思想の持主をもつて議會の椅子の半分を占めさせたと假りに考へて御らんなさい。我が日本帝國の運命はどう云ふことになりますか？

考へても身の毛がよだつ思ひがするではありませんか？

新らしい道を開き、舊弊を脱することは必要です。日に月に進歩向上の道に進まねばならぬと云ふことは私共人間に天から與へられた使命です。けれども、世間には幸福を增進する本當の意味の進歩向上の道と、國民を途端の苦しみに陷れる破壞に導く道との區別を知らない人間があります。そして、彼等は理知に暗い、感情の粗野な人々を煽動することを彼等の仕事としてゐます。

さう云ふ種類の人々に煽動されて燃へ上がつた素晴らしい多數の力が我が帝國議會を左右する時のことを、今、我々日本國民が考へて見なければならないのです。

五

そして、それは恐ろしいことである。どうしても避けなければならないことですが、併し、一旦保證された國民の權利を今更取りかへすことは不可能です。

そこで、我が帝國議會を、今、云つたような窮地に陷れないようにする唯一の道は、政治と云ふおみこしのかつぎ手の中に婦人を加へることであります。

婦人參政權の反對論はいつも婦人にはまだ其の資格が無いと云ふことでありますが、そんな

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

らば男子有權者は皆資格があるかと云ふ質問を私共は出さなければなりません。今も申しましたように、新有權者のうちには其の資格を持たない者が餘まりに澤山あります。いゝえ、新有權者にばかりではない舊有權者のうちにも其の資格のない者が澤山あります。投票を賣買するものは皆其れではありませんか。

いゝえ、新舊有權者のうちにばかりではない、政治家其れ自身のうちにも政治をとる資格の無い者がザラにあるではありませんか。

政治家としての資格の無い政治家の指導の下に、政治に參加する資格のない新舊の有權者が加はつたのでは我が國の政治と云ふおみこしは山に乘り上げるか、海に落ち込むか分らないではありませんか？

そこで、男子程は雷同する性質を持つてゐない、そして、愛情に生きようとする、且つ又、比較的保守的な女性を政治に參加させて、卽ち婦人にも參政權を與へて、ともすれば危險性を帶びようとする政治を其の常道に近かゝらしめなければならないと私は考へます。

婦人問題が起つて以來今日まで、婦人參政權の要求は、それが男子の持つてゐるものであるから婦人にも與へよと云ふ、つまり、男子ばかりで獨占してゐるものを、その男子の手から、婦人が奪ひ取らうとするような態度でありました。けれども、今日の少なくとも私共の參政權の要求は、男の持つてゐる權利を婦人の手に奪ひ取らうとするのではなく、男子の手だけでは此の政治と云ふおみこしは持ちきれなくなつたから、私共婦人も、私共婦人や子供達の幸福のためにばかりでなく、あなた方男子の幸福のためにも私達の手をお貸しゝます。つまり、今の私達婦人は權利として參政權を要求するのでは

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

なく、國民の義務として、國民全般の幸福のために働きたいと云ふ犠牲の精神から出立してゐるのです。

六

この人生の事柄に關して、人々が誤まつた考へを持つてゐると云ふ事實は數限りもなく澤山ありますが、そのうちでも、最大なる誤まつた考へは、人の人格と其の人の品行とを別々にして考へてゐたことです。

たとへば、大臣參議、その他、國事にたづさはる人々は品行方正な人格者で無ければならない筈になつてゐます。けれども、さう云ふ人々の性生活がどんなに亂れたものであつても、それは少しも其の人の人格に關係は無いように考へられて居ります。つまり、昔の英雄色を好むと云つたような調子が、今でも、男子のうちには殘つてゐて、妾を置かうが花柳界に足を入れようが、それが人格をキズツケルものでは無いように考へられて居るのです。

けれども、私共女性の立場からはさう云ふことは人間として最も恥づべきこと、社會に對する最も大きな罪惡であります。たとへ、國家的に大きな仕事をして幾分國民の利益を計つたからと云つて、私生活が亂れてゐて、自分と直接關係ある人々を不幸のどん底に陥れてゐたのでは結局何にもならない。のみならず、自分の情慾のために女性を奴隷として恥づることを知らないような人は、自分の慾のためには何日何時國民を奴隷にするかも知れません。

ですから、國の諸制度に對して過激な思想を持つ人間は國を外側から破壊しようとする危險分子であり、女性を弄ぶことを男子の特權のように思ふ低級な思想を持つ人間は國を内部から

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

腐敗させる同じく危險分子であります。

　私共女性はさう云ふ危險分子に國政を委ねることに非常な不安を感じます。

　妾を持つてテンとして恥ちないような人間を一日も早く政治界から除去したいと云ふ念願を持つて居ります。

　で、先日の總選擧に際しました時も、私共の團體では女の手で出來るだけのことをして、此の總選擧の御手傳ひをしようと云ふことになつて、「各候補者の經歷を調べ上げ、印刷して有權者に配布しよう」と云ふ案が出た時に、私は、「その經歷には「蓄妾生活何年間」と云ふことゝ、「妾は何號まである」と云ふことを書き入れて欲しい」と申しました。

　時間が無かつたゝめに其れを實行に移せませんでしたが、とにかく、不品行な、女性を奴隸として恥ちないような政治家を支持することを婦人の感情は斷じて許しません。

七

　政治界の腐敗が傳へられて既でに久しいものであります。そして、國民のうちの一部の人達は、制限選擧から普通選擧に代はることによつて政治の活路が開かれるように宣傳して居ました。けれども、信頼するに足りない人格の持主達に、理知に暗い感情の粗野な一般男子を加へた處が、政治は益々暗くなつて行くばかりで、極く少數の高い人格の聰明な人達の意志は其の暗闇の中に埋められてしまうでせう。

　そこで、國を思ふ私達婦人は私達婦人や子供達の幸福ばかりでなく、私達の父であり夫であり兄弟でありむすこである男子達の幸福のために、女性としての力を國の政治に提供したい。

　一家族の幸福のために喜んで自分自身を犧牲

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

にして來た其の經驗をもつて一國と云ふ大家族のために働きたいと云ふのが私達の婦人參政權の要求であります。

婦人が參政權を得たからとて、全國の女性が皆家庭を外に、政治に狂奔するのではありません。それは、一般の男子有權者が四年に一度投票に行くのと同じで、唯、少數の家庭の雜事からは免除されてゐるような事情に居る婦人が全婦人を代表して働く、一般婦人は唯少數のそれ等の婦人の仕事を了解して居さへすればことは足りるのです。

とるにも足りないような誤解や偏見は速かに取り去つて、そして、男女相方の幸福のために特に次の國民即ち子供の幸福のために此の次の議會には現內閣が婦人參政權案を提出し、各派が其れに協賛して、即時可決となるように、私は希望致します。

幸福の港へ導く光りは一つ

人生は複雜であるとは今更私が云ふまでもありません。私共個々人の性質から云つても、又は、社會生活の上から見ても實にこの人生は千變萬化であります。

そして、此の千變萬化極はまり無き世の中に身を處して、相當な幸福を享有しようと思へば私共はあまり多くの事柄に心をひかれてはならない。

あまり多くの事柄に心をひかれる。云ひ直せば氣が多い。さうして、幸福を追ふのに急であ

るために、とんでもない誤解に陥つてゐる場合が少なくない。即ち、幸福其のものと幸福を得る手段とを混同してゐる。そして、其の手段のために幸福其のものを犧牲に供してゐると云ふことが往々あるのです。

人生旅行中の失敗の跡をよく考へて見れば、それが極く小さい原因から始まつてゐて、それは、たいした知力も努力も要さずに避けられるものであつたと氣が付く場合も決して少なくない。

だが、あまりいろ〱のことに心をひかれてゐるためにもの丶眞髓を摑むことが出來ずにゐた。云ひかへれば、生活の中心點がハツキリしてゐないために、つまらないことのためにツイ迷ふ。もう一度云ひかへれば、自分の足は旅行の途上に既でに一歩踏み出してゐるのに行く先きが定まつてゐないためにとんでもない處へ行つてしまつたと云ふことになるのです。

天から賦與された私共の精力には限りがあるものですから、私共はいろ〱のことに注意を向けることの代りに、先づ、私共の生きる目的の眞髓を摑まねばなりません。

目的の眞髓を摑んで、その方に着々と進んで行くならば外の小さい事柄は皆共れに附隨して來ます。

西に行かうか東に進まうかと行つたり來たり迷つてゐるならば其處にいろんなことがこんがらかつていよ〱迷宮に入る思ひがして來るに反して、自分は東に行くべき人間なのだと心を定めてまつしぐらに東に向つて進むならば、其の途上にある障碍物は追々と除去され、其の目的は益々明らかになつてまいります。

私は、今、もの丶眞髓、目的の眞髓と云ふ言葉を用ひましたが、一體、その眞髓とは何を意

味するかと申ますと、社會上の高い位置も、名譽も、力も、富も、學問も――それ等は皆善いものには相違ないが併し――私共の生活の眞髄ではありません。それ等は、皆私共の生活を情味ゆたかに圓滿に幸福にしようとする手段に過ぎません。

ですから、私共の生活其のものを主にして、それ等の名譽とか力とか富とか學問とか云ふものを生活を幸福にする道具として考へる時に其れ等のものは皆有益です。けれども、さう云ふ道具、即ち、手段のために自分の健康を害したり、生活の喜びを犧牲にしたり、殊に、自分の人格を捨てるようなことがあれば、それは馬鹿の骨頂です。

○

今日まで、長い間、人は男の生活と女の生活とを別々に考へ、そして、比較して、男の生活は企業又は學問と云ふようなものにあつて其れはすばらしくも偉大なるものとなし、女の生活は愛にあり、其れは些細な愚劣なものであるように考へてゐました。理性によりも愛情に重きを置く女の感情を女々しいと云つて男が罵つてゐた事實が其のよき證據であります。

そして、男は男性のみが人間であるかのような傲然とした態度をかまへて女に臨んでゐました。

女と比較して男がより多く野性であることや稚氣に富むことや、生活にまとまりがつかないことは女の目からは愛すべき點ではあつても、併し、女性の尊嚴さ、愛の重要さには全く盲目で唯々外界並びに物質の力のみしか見ることの出來ない野ばん的な男に對しては今の女性の反感措く與はざる處であります。

そこで、將來の良人を選まねばならない時に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

遭遇した若き女性に對し私は、「學歴などは問題になさるな。經濟的能力も最少限度の生活を支へ得れば其れで澤山。けれども、どう云ふ女性觀を持つてゐるかは嚴密に知らなければなりません」といつも忠告して居ります。

　なぜなら、最高知識を獲得してゐても、世界的名聲をかち得てゐても、富を山と積んでゐても、女性の靈性を尊敬することを悟らず、愛が人間生活の生命であると云ふことを知らず、外界の事柄や物質の奴隷となつてゐるような云ひかへれば物質力よりも精神力の方が偉大であることを知らないような男との結婚生活は砂利の上で藻をかんでゐるような生活であるに相違ありません。

○

　「戀愛はたましいの最も大なる擴大であり、最も統一的であり、殊に、凡ての最高なるもの

を吸收する力をもつてゐる。實に、戀愛は外の愛とは異つて靈肉の一致となり、個人生活と社會生活の一致となる。故に、偉大にして神秘なる世界と云ふ薇薔の花心は戀愛であつて、凡て外の事柄、即ち、宗教も文學も藝術も政治も法律も經濟も其の他の諸制度も皆此の戀愛と云ふ花心を包む花瓣である。

　「こう云ふ事實を無視してゐて、社會問題又は政治問題を解決しようとする努力は恰かも地震で搖られてゐる地上に建築をしようとしてゐるようなものであり、あらゆる文化の創造的活動は病毒ある水源から流れ出づる濁水の如くであり、人生のあらゆる方面の力の發達は萎びた根から生へた植物の如きものである。

　「が、戀愛に對する宗教的尊敬が性的生活の唯一の健全な美しい條件として設定されるまでは、今述べた狀態は繼續するであらう。戀愛に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

對する宗教的尊敬の觀念のみが社會の堅實なる基礎を造り、その源泉を純化し、その根源に營養を與へるであらう。大都會の貧民窟を一度通過した人は誰でも今日我々が社會問題に關して餘まりに多く論議するとは云はないだらう。けれども、今日の性關係は其の階級の如何を問はず委く貧民窟である」

と、エレンケーは云ひ、そして、又、或る詩人が「現在の社會の結婚の悲劇と戀愛の浪費は夥しいものである。そして、その夥しさのために其れ等の不幸を見、聞きする目と耳は麻痺してしまつた」と云つてゐるのは現在の狀態を適確に裏書きしてゐるものであります。が、此の戀愛の力を女性は自分の生命と同一視してゐたに反して、男性は此の力を長い間侮蔑し、粗末にし、玩弄視し、裏切つてゐたのです。

けれども、如何に頑迷な男性でも進化の力には抗じがたく、此の頃ボツ／＼戀愛を基礎とした結婚生活の價値を認め得る男性が現れてまいりました。これは女性並びに男性の幸福ばかりでなく、人類全體の幸福の源であることは前にあげたエレンケー女史の說によつても明らかであります。

物質生活よりも精神生活即ち愛の生活を重要視しなければならないと云つても、それは男の女性化を意味するのではありません。男性の特色なる力の發達と云ふことを忘れて、外形の美に心を使ふような軟弱な所謂モダーン式の男は氣品ある女らしき女の排斥して止まないものであると云ふことは昔も今も、そして、未來永劫同じであると私は信じます。

女子は女性としての優しさと品位が必要であると同じように、男子は男性としての强い力、——昔風の單なる腕力ではなく道德的意義を含

んだ強い力――活力、威嚴がやはり貴いものであります。

そして、女子の優しさと品位とを尊敬すべき理由を適確に悟り得た男子は、その優しい品位ある女性との調和ある生活を望むものですから男性としての其れ等の特色を發揮せずには居りません。前に、餘まり多くの事柄に心を向けてはいけないと申ましたが、それは其のまゝ良人選みの場合ひに適用しなければなりません。つまり、いくつも〳〵の條件を要求することの代りに、唯、一つの點を先づ見定めなければならないのです。そして、それは前にも申ました相手の男の女性觀であります。

文化が進めば進む程、私共の實質的の幸福が増加することの代りに、益々、不安と不幸が大きくなり、そして、それは、今日の文化が物質的文化であるからですが、この物質的文化を他の言葉で申ますなら、それは知力の文化であります。

そして、この知力の文化に道德的文化が伴はない處に一切の不幸は歸因して居ります。

そして、此の道德的文化の發展は女性に負ふ處が大きいのであること及び、女性は自分の戀愛觀を基礎に男性の放埒な結婚觀を矯正する態度で居なければならないと云ふことを昭和時代の婦人はハッキリ意識して居なければならないのです。

本誌臨時定價表		
一冊	金十錢	送料五厘
六冊	前金五十五錢	（送料共）
十二冊	前金壹圓	（送料共）

昭和三年三月廿三日印刷納本
昭和三年四月一日發行

東京市四谷區南伊賀町四一
編輯兼發行人　山田嘉吉

東京市牛込區若松町五四
印刷人　大杉直次郎

東京市四谷區南伊賀町四一
發行所　婦人と新社會社
振替東京五三六八八番